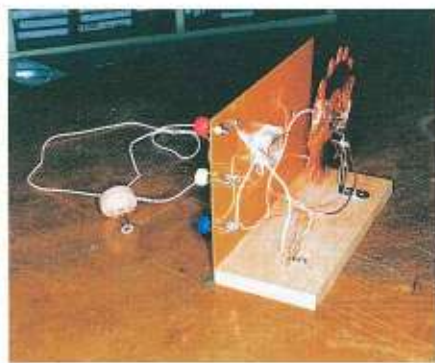
まい　あーと■陶芸「らんぷ」by 恵　芳子

MADE IN EKUTEBIAN

メード・イン・えくてびあん

あざやか!?なハンダごてさばきで、工程は進んで行く

心臓部の組立。あまりのシンプルさに本当に聴こえるか心配になるほど

完成した鉱石ラヂオ。入感して来たのはＴＢＳの竹内まりやの曲だった

何でもが買える便利な世の中。あえてその物の原点に戻ってみたら、別の世界が覗けるかも知れない。そんな好奇心にくすぐられて、初めてみよう〝MADE IN EKUTEBIAN〟。第１回目は荒井重行さんと鉱石ラヂオを作って楽しんだ。電池もいらない、イヤホンでしか聞けない、か弱い音しか出せない鉱石ラヂオだが、不便だなんて勝手に決めつけちゃいけません。元来、音とは『耳を傾けて聴く』というじゃありませんか。

荒井重行さん(曙町1丁目)と鉱石ラヂオをたのしむ

春／「歩け歩け」
至誠老人ホーム 平均年齢・78歳

夏／「すいか割り」
特別養護老人ホーム5F 平均年齢・87歳

秋／「ぶどう狩り」
特別養護老人ホーム2F 平均年齢・84歳

冬／「ある冬の風景」
柏センター 平均年齢・81歳

●えくてびあん・レポート

四季のいろ、ありがとう、先輩。

第21回 至誠ホーム いきいき生活作品展より

たくさんのお年寄りが集う至誠ホーム(錦町)が
毎年行っている作品展、今年も1月17日からの3日間
駅ビルルミネ・ウイルギャラリーにて開かれました。
今年のテーマは「春・夏・秋・冬」
日々の忙しさにかまけた私たちが忘れていた
四季の「いろ」。当然のことながら、春には春の
秋には秋のいろがあったんですね。
季節を愛でる想いを、ありがとうございます、先輩。

他人事じゃない自分事
立川防災館を訪ねて「いざ」に備えよう

▶瓦礫と化した兵庫の街（立川防災館展示写真より）

未曾有の大災害となった兵庫県南部地震。テレビの画面に映し出される正視し難い光景に言葉を失う。被災地の方には、どうか頑張っていただきたいと願う気持ちと同時に「これは他人事ではないぞ」という思いがあふれてきた。

「あそこへ行ってみよう！」

いざという時の心構えをつかむべく、私たちは急遽、立川都民防災教育センター・立川防災館（泉町）を訪ねることにした。

◆様々なスペースで震災を「体験」

兵庫の震災の2日後。19日の午後、私たちは防災館にいた。美しいフロアは平日だからか閑散としている。大地震の後だけに大勢の来館者がいるかと考えていたが予想ははずれ。「防災に対して、もう少し認識をもってくれればいいんですが」案内をしてくれる係の方も洩らす。

防災館は様々な設備によって災害についての知識を得、疑似体験までできるという画期的な施設。都内には池袋と立川の二ヶ所しかない。東京で震災が起こった場合、昭和記念公園付近のこの一帯が都民の避難場所に想定されている事などから、こういう施設がわが街にあるということの意味は大きい。

最初に案内されたのは「煙体験室」。電気が止まり、真っ暗な状態の建物の中を、いかに慌てずに避難出来るかを学ぶスペース。ビルのフロアを設定したセットが組まれ、無害な煙を室内に放出。現実の災害に極めて近い状況の中を、煙を吸わないように腰を屈め、出口を求めて進んでいく。事前にコースの説明を受けてはいたものの、窮屈な姿勢、しかも真っ暗な状態を手探りで進んでいく不安感は予想以上。ようやく手に触れたドアノブを回してもそれが開かない時の気持ちたるや。これは訓練だとわかっていても「もうだめだ！」と口走ってしまうほど。出口にたどり着いた時には、背中一面冷や汗でぴっしょり。コンピューターの採点では合格点だったが、いうまでもなく現実の災害に合格も不合格もない。

次のスペースは「地震体験室」。リビングやキッチンを模したセットに入り、震度5～6以上の揺れの中でどれだけ適切な行動ができるかを試す。機械の調整のため、残念ながらこの日は揺れを体験することが出来なかったが「火を消す」「ドアを開ける」「机の下にもぐる」「声をかけあう」などの基本的な行動を瞬時に出来る人は滅多にいないという。実際に地震が起こった時、その基本的な行動を「行うため」ではなく、それを「行うことが困難だ」ということを身をもって知るためにこの設備はある。案内の方の説明を聞きながら、そんな事を感じた。

◆必見！「太陽が引き裂かれた日」

消火器や屋内消火栓を使って消火のトレーニングをする「消火訓練室」。万一のために基本的な応急処置を学べる「応急救護訓練室」などのスペースをひととおり体験して、最後に案内されたのは「防災ミニシアター」。プラネタリウムのようなドーム状のスクリーンに、実際に地震が起こった街の状況を織り込んだ映画「太陽が引き裂かれた日」が上映される。17分という短い上映時間だが、そこに映し出される映像は最新の音響設備と相成って、臨場感がたっぷり。瓦礫の街の中、物が落下してくるシーンでは思わず体がよけてしまうほど。怖いという気持ちを通り越して、肉体的な痛みまで感じてしまうような映画。現実にテレビの映像で兵庫の様子を見てしまった後だけに「映画だから」「作りモノだから」などという余裕は、まったく消えてしまった。上映後、何ともいい難い後味の悪さの中に、この状況を、今現実に生きている人たちがいるという事実を思い出し、涙が出そうになった。

◆無力感を超えて

防災の心構えをつかむべく訪れた防災館だが、後に残ったのは災害に対する幾つかの知識と、なんとも言えぬ無力感。自然の猛威の前にあって、人間というのはなんと無力なのだろうか、という気持ち。だが、本当の防災とはここから始まるのではないだろうか。自然の力の前に何もできない自分たちを知り、だからこそ「今、何をすべきか」「何を備えるべきか」ということを真剣に考えられるのではないだろうか。防災館で体験できることはあくまでも疑似だが、その気持ちを持つためにも、わが街にこの施設があるという事は幸せな事なのかも知れない。

スペースを巡っている途中、私たちの一行は一人の女の子と合流した。彼女は女子大生。兵庫の震災をテレビで見て、矢も楯もたまらず、田無市からここを訪れたという。友達も誘ってはみたが、結局来たのは彼女だけ。各スペースでの体験講習を真剣にこなす彼女の表情を見て、なんとなく救われた気持ちになった。

▶「体験」前にはわかりやすく避難方法の説明をしてくれるが…

▶煙体験室。写真では解りづらいが、天井付近は煙が充満している。

▶地震体験室には防災頭巾が。大手スーパーなどですぐ手に入る。

◀防災ミニシアター。大迫力の音と映像、心臓の悪い人は要注意。

◀「怖かったねえ」体験した者同志、感想はこの言葉しか出ない。

▶展示コーナーには非常食いろいろ。どれも市販されているものばかり。

◎立川防災館
●場所／立川市泉町一一五六－一（JR立川駅北口2番乗場より防災循環バス立川消防署前下車又は防災センター経由または防災循環バス立川消防署前下車）●利用時間／午前9時から午後5時（入館は午後4時まで）●休館日／月曜日・第3火曜日●入館料／無料●問合せ／二一一－一一九

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

この度の兵庫県南部地震におきまして、お亡くなりになられました方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災されました方々、心よりお見舞い申し上げます。

真如苑だより

今月の真如苑精舎参観は左記の通りです。

記

■日時　2月14日(火)
2時～4時

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

ベスト立川人・展'95 盛会のうちに閉展

1月12日からの一週間、駅ビルルミネ・ウイルギャラリーで開かれた「ベスト立川人・展」。10回目を迎えた今年も、関係各位のご協力をいただき、盛況のうちに閉展することが出来ました。

毎年恒例のオープニングパーティーは諸事情により延期になったものの、初日から会場を訪れる人の足は途絶えることなく、一週間で二千人以上の市民が来展。躍動する街の息吹でいっぱいに満たされました。特に成人の日をはさんだ三連休には、様々な年齢層の方が訪れ、場内は明るい雰囲気で満たされました。

全日をとおし、今年目立った傾向として、古くから立川に住んでおられるお年寄りの方の来展が多かったように思います。観覧の後には街の歴史にちなんだお話や、皆さんそれぞれ感想を述べてくださり、若いスタッフにとってはとても勉強になる機会をいただきました。

立川近郊の方も多数お見えになり、鑑賞の後には「うちの街でもこんな催しがあればいいのに」と感想を述べてくださいました。

過去の「ベスト立川人・展」に登場された方、また本誌を創刊当時から応援してくださっている方々も続々と足を運んでくださり、会場はその度に、近況の報告や今回の感想などを話題に、しばし歓談の輪がうまれました。

期間中、無料で配布している「ラ・ヴィ・アン・ローズ～一〇〇年カレンダー」は今年も好評で、皆さん帰り際に手に取ってご覧になり、お持ち帰りいただきました。

十回目の節を越え、また気持ち新たに街を見つめて行こうという決意と共に、ご協力いただいた関係各位、ご来場の皆様には、謹んで御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、来年はどんな出会いがありますでしょうか…。

表紙は語る
まい あーと　陶芸『らんぷ』 by 恵 芳子

「陶芸がやりたくて美術大学へ進学したのですが、大学では金属に魅せられて大学院を出て陶芸を始めたんです」恵芳子さん（錦町）は、都立芸術高校でデザインを教えている教師である。その高校の気の合う教師同期生たちが集まって、初めての個展を六本木で開いた。「自分で窯を持っていないので、陶芸教室に通っての制作なんです。ですから作品一つ作るにも時間がかかってしまって」と笑う恵さん。

ほんとうにやりたかった陶芸と格闘。融薬に塩を使ってみたら電気窯が錆びてしまうなどの失敗を繰り返し、自分の求める色や焼き上がりへのこだわりに苦心しながら、生活雑貨である『らんぷ』に土と明りの調和を求め続けている。図柄は題材があるわけではなく、自分の気持ちのまま彫りあげていくと『トンボ』が多くなるというほのぼのとした作風は恵さんの人柄をそのまま映し出しているようだ。

（編集）池田隆男　牛田彰一　小杉和己　小林康史
隅川　理　名尾昌真　中村絵里　岩井正弘
町田健一　山田恵子
（写真）天野武男　板橋一明　井上義治
スタジオ269　校川一巳　五来孝平

東風

あの地震が自分の土地に襲ってきたら、どうしよう。ただ、おろおろするばかりである。私は大丈夫という人がいたら、実印持参の上、工房まで申し出て頂きたい◆天災の前に、人力の微弱を痛感しなかった人はおるまい。研究者が制作した種々のマニュアルも、コンピューターの予想も役立たなかったようだ。マグニチュード6とも7とも云われるが「烈震」の場合、他の要素が加わるように思える。わが家は本建築だから大丈夫と豪語してみても、震災時に家にいるとは限らない。路上にいても、今回のように高速道路の橋桁が横倒しになってしまった。桁外れの災害に、人間はなす術がないのであろうか◆災害の悲惨を伝えることが難しいのも人間社会の限界なのかも知れない。わが身をつねって他人の痛さを知れと教えられても、実感の機会は滅多にない。テレビや新聞雑誌を通して被災者の悲惨は知っていても「自分ごと」からは程遠い、悲しい性をもっている◆難しいと判っていても、希望は失うまい。もともと人類は「希望の生物」として営々たる歴史をもっているではないか。ところで、一大事の場合の地域の「避難場所」をあなたはご存知であろうか。禅語に「冷暖自知」というのがあるとも聞いた◆凶報を吉報にかへ春よ来い。

月刊えくてびあん　第127号
平成七年二月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　〒190
電話　〇四二五(28)〇〇八二
FAX　〇四二五(28)一二九七
編集発行人　立井啓介
印刷所　㈱大廣社

ウォッチング

表示の形態(1)

相手にものを告げる形にもいろいろとあるが、今回はよく見かける"○○禁止"の種類。砂川町4丁目の道路に黄色のペンキで書かれた文字は『私道付用者以外駐車禁止』と『子供の道遊び禁止』である。駐車禁止はありふれていても、子供の道遊びを禁止する表示はめずらしい。この道の持主の方、よほど違法駐車と子供に手を焼いたのであろうか、いやいや、きっと子供の安全を思ってのことであろう。

WATCHING

えくてびあんの輪

人がゐて、街があります。
あなたがゐて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも えくてびあん！

町名	店名	住所	電話
羽衣町	中島豆腐店	羽衣町2-12-34	☎22-5723
羽衣町	和風レストラン 蔦屋	羽衣町2-27-14	☎26-3698
羽衣町	珈琲屋 らうむ	羽衣町2-27-9	☎26-3643
羽衣町	立川商店	羽衣町2-30	☎22-3565
羽衣町	泰明堂	羽衣町2-31-1	☎22-3353
羽衣町	文具の ないとう	羽衣町2-33-1	☎22-3677
羽衣町	洋菓子サロン ケーキスタジオ35	羽衣町2-6-1	☎27-6808
羽衣町	おそのい時計店	羽衣町2-32-2	☎22-5211
栄町	多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-66-1	☎36-9711
栄町	手打ちそば 信更	栄町5-12-1	☎37-0991
栄町	相模屋酒店	栄町5-61-8	☎36-2476
栄町	森田接骨院	栄町6-6-25	☎35-6240
錦町	高木健康回復センター	錦町1-6-21	☎21-0289
錦町	和菓子処 ゆうき	錦町1-8-5	☎25-0780
錦町	むぎばたけ	錦町2-1-1	☎26-0210
錦町	池田屋商店	錦町2-1-10	☎22-3731
錦町	寿屋酒店	錦町2-1-13	☎22-3625
錦町	三田花店	錦町2-5-23	☎24-4187
錦町	立川市市民会館	錦町3-3-20	☎26-1311
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
幸町	たちばな	幸町6-1-12	☎37-0347
高松町	自然食 ぱれあな	高松町2-1-23	☎24-4560
高松町	多摩画材	高松町2-1-25	☎22-6031
高松町	洋菓子 マリアン	高松町2-10-22	☎24-3912
高松町	山梨中央銀行 立川支店	高松町2-16-13	☎26-1571
高松町	宝泉菓子店	高松町2-27-3	☎26-1736
高松町	丸助青果店	高松町2-4-18	☎22-3542
高松町	肉の専門店 伊勢屋	高松町2-6-20	☎24-2734
柴崎町	ほわいとはうす	柴崎町2-9-28	☎24-1610
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24	☎26-2947
柴崎町	白洋舎 立川諏訪チェーン店	柴崎町2-17-5	☎25-0036
柴崎町	モリタニ漢方薬局	柴崎町2-2-10	☎25-1193
柴崎町	㈲関田酒店	柴崎町2-2-17	☎24-2960
柴崎町	ユウ都市企画	柴崎町2-3-13	☎28-2566
柴崎町	ラ・バンバ	柴崎町2-3-3	☎24-5800
柴崎町	LIQUR SHOP はなむら	柴崎町2-3-9	☎22-2491
柴崎町	オーロール焼きたて 立川店	柴崎町2-4-15	☎27-9473
柴崎町	北京大飯店	柴崎町2-4-19	☎22-6393
柴崎町	ななや	柴崎町2-4-22	☎25-6980
柴崎町	田中星美堂薬局	柴崎町2-5-3	☎22-3913
柴崎町	菊川園	柴崎町2-5-6	☎26-2035
柴崎町	café コロラド	柴崎町2-5-8	☎26-2285
柴崎町	スタジオ269	柴崎町2-8	☎27-0269
柴崎町	東陶房	柴崎町2-9	☎25-0079
柴崎町	ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3	☎22-3928
柴崎町	笠井紙店	柴崎町3-13-24	☎22-8601
柴崎町	矢沢歯科	柴崎町3-16-2	☎25-6600
柴崎町	割烹 紀ノ川	柴崎町3-4-3	☎25-5825
柴崎町	ラ・フィネ	柴崎町3-5-2	☎25-2179
柴崎町	ヨシダ貴金属店	柴崎町3-5-4	☎22-2448
柴崎町	東京相和銀行 立川支店	柴崎町3-6-17	☎22-2171
柴崎町	オリオン書房	柴崎町3-6-27	☎25-3111
柴崎町	あさひ銀行 立川支店	柴崎町3-6-29	☎22-4161
柴崎町	イスパニスタ	柴崎町3-6-3	☎22-2969
柴崎町	入船寿司	柴崎町3-6-32	☎22-2474
柴崎町	サンカメラ	柴崎町3-7-22	☎22-3336
柴崎町	ラーメン竜馬	柴崎町3-8-2	☎27-7575
柴崎町	東京都民銀行 立川支店	柴崎町3-9-21	☎22-7107
若葉町	美容室 リラ	若葉町1-11-1	☎36-3048
若葉町	みふじサイクル	若葉町1-12-4	☎36-7166
若葉町	紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2	☎36-1604
若葉町	エッソ石油 けやき台ステーション	若葉町2-1	☎35-3081
曙町	大晋商事	曙町1-23-9	☎25-3110
曙町	オリオン書房 ルミネ立川店	曙町2-1-1	☎27-2311
曙町	ビューティータナカ ルミネ立川駅ビル店	曙町2-1-1	☎27-6917
曙町	八王子赤十字血液センター 立川出張所	曙町2-1-1	☎27-1140
曙町	朝日カルチャーセンター 立川	曙町2-1-1	☎27-6511
曙町	ロッテリア 立川ルミネ店	曙町2-1-1	☎24-7433
曙町	オルゴール・雑貨 グーシーハウス	曙町2-3-7	☎25-2588
曙町	立川リージェントホテル	曙町2-11-7	☎22-1133
曙町	松下珠算塾	曙町3-33	☎25-1671
曙町	ホワイトハウス フロム中武	曙町2-11-2	☎25-8558
曙町	ケンタッキーフライドチキン 立川支店	曙町2-12-16	☎28-2636
曙町	伊勢丹 立川店 受付	曙町2-12-2	☎25-1111
曙町	三菱銀行 立川支店	曙町2-13-3	☎24-4121
曙町	トポス 立川店	曙町2-18-18	☎25-0331
曙町	オリオン書房 第一デパート店	曙町2-2-25	☎23-3311
曙町	印章の 宝山堂	曙町2-4	☎25-0111
曙町	アルビヨン	曙町2-4-28	☎25-3824
曙町	お菓子の家 エミリーフローゲ	曙町2-4-28	☎27-4138
曙町	アンキャフェ・エミリー・フローゲ	曙町2-4-30	☎26-1818
曙町	クリムト	曙町2-4-30	☎26-3030
曙町	第一勧業銀行 立川支店	曙町2-4-30	☎22-5151
曙町	シェ・タスケ	曙町2-5-14	☎27-5959
曙町	さくら銀行 立川支店	曙町2-6-11	☎22-2151
曙町	サヴィニ	曙町2-7-10	☎25-1662

わたしの玉手箱

3. 羽衣町・小蘭井種義さんの「アンティーク・ウォッチ」

「これ、嫁に行きそうなんだよ」と悲しげな顔で並べてくれた小蘭井時計店のかわいい娘たち。古き良き物への愛着の前には、商売なんて関係なくなってしまうのである。